

感染を防ぐには

● 循環式浴槽（24時間風呂など）



- ・取扱説明書の指示通りに管理します。
- ・プレフィルターは毎日清掃します。
- ・浴槽水はこまめに取替えます。
- ・浴槽の壁面などに、ぬめりを感じたらすぐに浴槽を清掃します。
- ・気泡発生装置（パイプなど）は使用しないようにします。
- ・殺菌装置がついている場合は、できる限り長時間殺菌します。

● 加湿器（超音波方式など）



- ・使用する際は新しい水を入れて使い、水のつぎたしはやめます。
 - ・使用後は、タンク内の水を抜き、乾かして保管します。
 - ・タンクはこまめに清掃します。
- ※かつては超音波方式の加湿器が広く使われていました。昔からお使いになっている加湿器は、特にしっかりと対策をしましょう。

● 循環式給湯設備

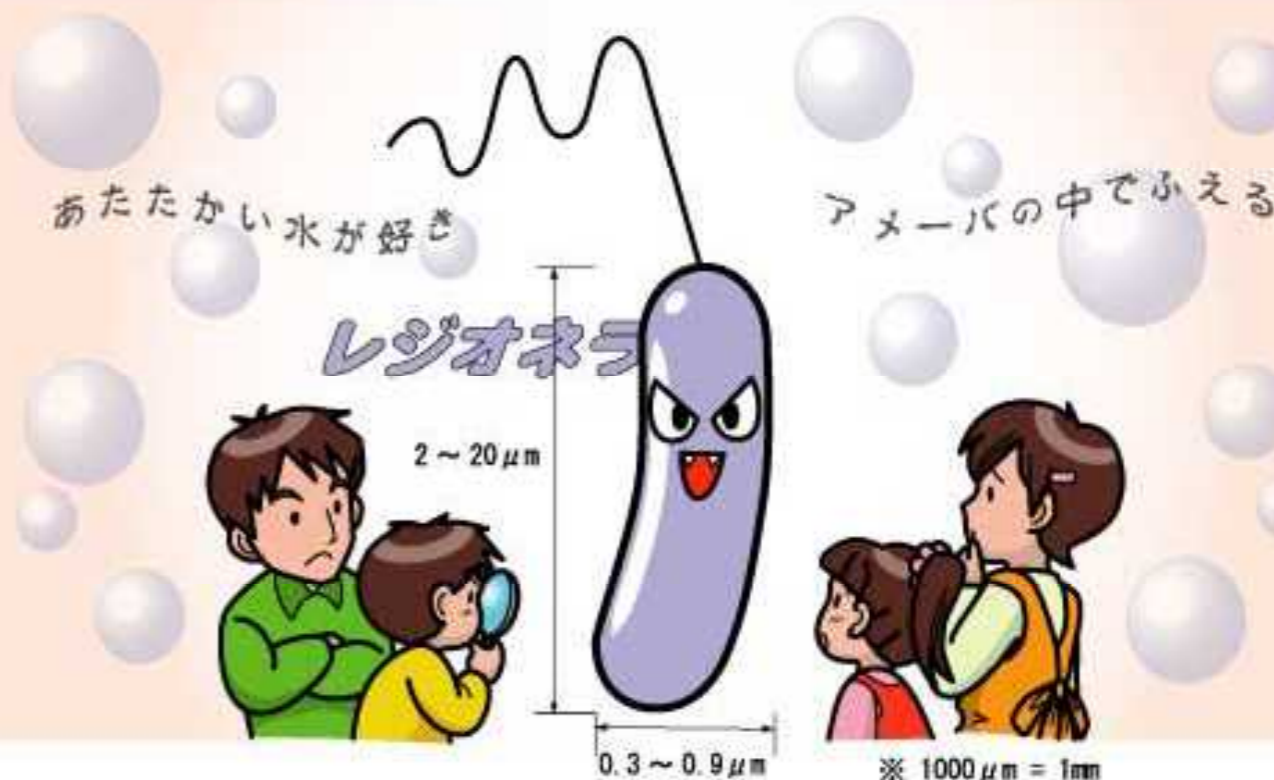


- ・温度は60℃以上に設定します。（やけどに注意しましょう）
 - ・貯湯タンク、配管、シャワーヘッド等の清掃をします。
 - ・お湯が滞留しないようにします。
- ※瞬間湯沸かし器は、菌が増える心配はありません。

覚えて安心！家庭の対策

レジオネラ症にかからないために

レジオネラ属菌は、人に肺炎などの病気を起こす細菌です。ご家庭でも注意が必要です。



レジオネラ属菌とは

- レジオネラ属菌は、自然界では土の中や川、湖などにいます。
- 一般に20～50℃でふえますが、36℃くらいを最も好みます。
- レジオネラ属菌は、ほかの細菌や藻類などから必要な栄養分を吸収したり、アメーバなどに寄生します。
- 循環式浴槽水、給湯器の温水や、空調設備の冷却塔の水などにいるアメーバなどの中で大量にふえます。



問い合わせ先

札幌市保健所 生活環境課
札幌市中央区大通西19丁目 WEST19ビル3階
電話 011-622-5165
札幌市保健所ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/>

R100
古紙100%配合紙100%再生紙を使用

さっぽろ市
02-102-07-1076
19-2-199

札幌市保健所

レジオネラ症ってどんな病気？

● 死亡者が出ることもある感染症です。

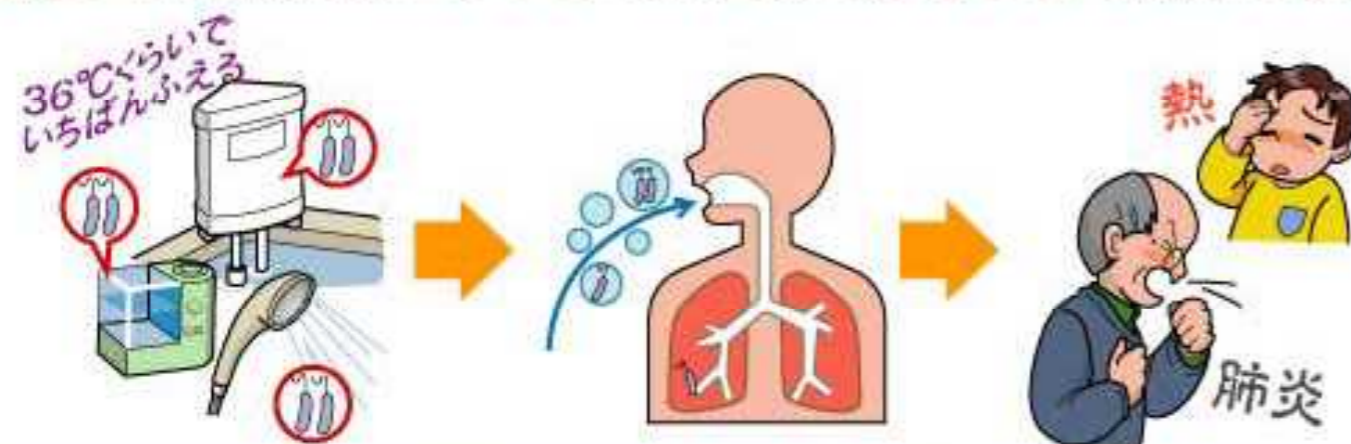
レジオネラ症は、レジオネラ属菌を吸い込むことによって起こる感染症です。

急激に重症になって死亡する場合もあるレジオネラ肺炎と、数日で自然になおる場合が多いポンティアック熱に分けられます。



重 レジオネラ肺炎	軽 ポンティアック熱
主な症状 高熱・呼吸困難 筋肉痛・吐き気 下痢・意識障害	主な症状 発熱 寒気 筋肉痛
特徴 急激に重症になり死亡する事もある	特徴 一般に軽症で数日でなおることが多い

● 菌を含んだ飛沫(エアロゾル)を吸い込むことで感染します。



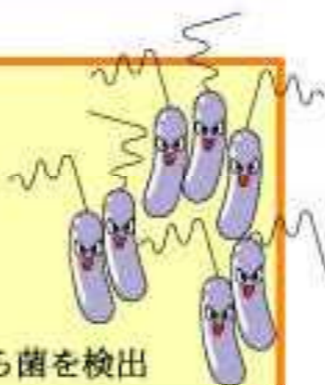
浴槽・加湿器・循環式給湯器など、人工の温水の中では爆発的にふえます。

レジオネラ属菌を含んだ水の飛沫(エアロゾル)を吸い込むことで肺に入り感染します。
人から人へは感染しません。

とくに、高齢者・乳幼児・病気などで免疫力が落ちている人は発症しやすいといわれていますので注意が必要です。

主な発生事例

- 平成11年6月愛知県 自宅の24時間風呂で水中分娩 乳児が死亡
- 平成12年7月名古屋市 病院の24時間風呂 感染者1名が死亡
- 平成14年7月宮崎県日向市 温泉入浴施設 感染者295名、7名が死亡
- 平成18年11月東京都墨田区 老人保健施設 感染者1名が死亡
- 平成19年10月新潟県新潟市 超音波式加湿器 感染者1名が死亡
- 平成19年10月東京都足立区 温泉付きマンションの循環式給湯設備から菌を検出



こんなところにレジオネラ

● 家庭にもレジオネラ属菌がふえやすい場所があります。

循環式浴槽 (24時間風呂)



循環式浴槽の中には、浴槽水をきれいにするためにろ過器や殺菌装置がついていますが、正しい管理を行わないと、ろ過器や湯船の表面にぬめりが発生し、レジオネラ属菌がふえやすくなります。

加湿器



超音波方式の加湿器は「電気代が安い」「出てくる霧が熱くないのでやけどの心配が無い」など、良いところもありますが、タンクの水の中でふえたレジオネラ属菌が霧と一緒に室内に飛び散ることがあります。

循環式給湯設備



ビル、マンションなど
集合住宅の例

循環式給湯設備では、配管内に温水がたまっている時間が長く、貯湯タンクの温度が低い(設定温度が60℃未満)と、レジオネラ属菌がふえやすくなります。タンクや配管の中でふえた細菌はお湯と一緒にシャワーヘッドなどから飛び散り、使用した人が吸いこんでしまう危険があります。

